

タイ:チャンカセーム・ラチャパット大学

国際事業化可能性調査プログラム



募集要項

プログラム名	国際事業化可能性調査プログラム
派遣先大学・機関名	チャンカセーム・ラチャパット大学本校 http://www.chandra.ac.th/
研修先(国・都市)	タイ・首都バンコク近郊
派遣期間	2026年8月25日(火)～2026年9月10日(木)予定(期間内で13～14日間) ※派遣期間には福井-国内主要空港間の移動期間も含めます。 ※研修前後に個人的な旅行を含めることは認められません。
プログラム趣旨	<p>「挑戦の2週間が、未来を変える。」—ある学生の物語から始まる、異文化共創の旅</p> <p>「自分のアイデアが、国境を越えて通じるかどうか、確かめてみたかったです。」 そう語ったのは、過去の参加者の1人、Aさん。彼は、初めての海外、初めての多国籍グループでのプロジェクトに、緊張と期待を胸にタイへ旅立ちました。</p> <p>この福井大学×チャンカセーム・ラチャパット大学共同プログラムは、単なる語学研修等ではありません。“ゼロから事業を考える”という実践型のテーマに、国籍も価値観も異なる仲間と取り組む、まさに“国際ビジネスの原点”を体験できる2週間です。</p> <p>到着後、彼らは4～6人の日本人、タイ人の混成チームに分かれ、現地の市場を歩き、企業にインタビューし、仮説を立てては壊し、また立て直す。その過程で、日本という国の強みや課題、そして自分たちの視野の狭さにも直面します。</p> <p>議論の言語は日本語。しかし、外国人パートナーとの日本語での意思疎通の難しさを体感し、改めて「伝えること」の本質に向き合う時間ともなります。英語は補助的に使われますが、それもまた、 グローバルビジネスにおける「英語の使い方」のリアルを学ぶ貴重な機会になります。</p> <p>2週間後、彼は自分の変化をこう語りました。 「答えを出すことより、問いを深める力が大事だと気づいたんです。どの国でも、どんな場面でも使える“考える力”が身についたと思います。」</p> <p>このプログラムは、「世界で戦えるスキルを身につけたい」と願うすべての学生に開かれたチャンスです。ただ知識を得るのではなく、異文化の中で思考し、行動し、自分の未来に火を灯す—そんな2週間で、あなたも経験してみませんか？</p>

チャンカセーム・ラチャパット大学(タイ・バンコク)

研修期間：2026年8月25日(火)～2026年9月9日(水)予定(13～14日間)※1

研修先：首都バンコク近郊／チャンカセーム・ラチャパット大学本校

http://www.chandra.ac.th/

活動内容：文化交流・産業調査活動を中心にタイ学生と協働し様々な経験を積みます

募集人数：10～30名程度

募集対象：全学部・研究科の学生※2

滞在先：大学内のホテル(2名1室利用予定。追加料金(2週間分の合計約2万3千円)でシングルルーム(1名1室)に変更が可能)

引率：地域創生推進本部教員

参加費用：約6万円(予定)※3

※授業料、宿泊費、フィールドトリップ代等込

※往復航空券、現地および日本国内移動費は別途各自手配

※食費、海外旅行傷害保険料、パスポート申請料金、現地個人経費は別途参加者負担

※1 研修期間に福井・国内主要空港間の移動期間も含めますが、航空券の関係で前後することがあります。

※2 プログラム期間中に試験・再試・講義・実習のある学生は参加できません。

※3 参加人数、航空券購入時の空席状況や諸費用税金等により、合計参加費用が変更する可能性がありますので、ご了承ください。

プログラム概要

【2週間の主なプログラム】

① 国際都市・バンコクで“リアルな社会”に飛び込む

ただの観光ではありません。世界有数の大都市・バンコクを舞台に、自分たちでテーマを設定し、仮説を立て、現地で検証する“本物のフィールドワーク”に挑戦します。教室では得られない、「自分で考え、動き、結果を出す」経験が、あなたの視野を一気に広げます。

② タイ学生とつながり、日本・福井の魅力を世界へ

現地の大学生とチームを組み、文化交流やディスカッションを実施。日本や福井の魅力を伝える中で、“自分の当たり前が当たり前ではない”ことに気づきます。言葉の壁を越えてつながる経験は、一生忘れられない出会いと、自信につながります。

③ 大都会だけじゃない。“もう一つのタイ”へ

活気あふれるバンコクだけでなく、郊外にも足を伸ばし、工場や地域社会を訪問。都市と地方の違い、産業の現場、人々の暮らし、リアルな社会構造を自分の目で確かめることで、ビジネスや地域の見方が大きく変わります。

【この2週間がもたらすもの】

最初は「不安」でも、終わる頃には「また行きたい」「もっと挑戦したい」そう思える自分に、きっと出会えます。

プログラム日程
(日程は昨年のもの)

8月26日(火)	(AM) 日本発 (PM) バンコク着・大学へ移動
8月27日(水)～28日(木)	(AM) オリエンテーション、歓迎セレモニー (PM) 仮説検証ワークショップ、調査活動
8月29日(金)	(AM・PM) バンコク郊外視察活動
8月30日(土)～31日(日)	(AM) タイ文化授業、フィールド調査、企業等視察 (PM) フィールド調査報告
9月1日(月)～5日(金)	(AM) タイ語、タイ文化授業、日本語 TA、日本文化発表

	<p>9月6日(土)～7日(日) (PM) 課題解決ワークショップ、調査活動、中間発表</p> <p>9月8日(月) (AM) フィールド調査 (PM) フィールド調査報告</p> <p>9月9日(火) (AM) 調査活動、最終発表・評価 (PM) 修了証授与式</p> <p>(AM) 空港へ (PM) 日本着</p>
生活面について	<p>滞 在 先: チャンカセーム・ラチャパット大学内(大学内ホテルを予定)</p> <p>食 事: フィールドトリップ先、バンコク都内、大学キャンティーン等</p> <p>生活補助: グループのチャンカセーム・ラチャパット大学生が、皆さんの生活をサポートします。</p> <p>言 語: 基本的に「簡単な」日本語および(必要に応じ)英語を用います。</p>
参加費用	<p>約6万円(予定)</p> <p>※授業料、宿泊費、フィールドトリップ代等込</p> <p>※往復航空券、現地および日本国内移動費は別途各自手配</p> <p>※食費、海外旅行傷害保険料、パスポート申請料金、現地個人経費は別途参加者負担</p> <p>※航空券購入時の空席状況や諸費用税金等により、参加費用総額が変動する可能性があります。</p> <p>※詳細は後述の「■その他注意事項」を参照してください。</p>
引率	あり(地域創生推進本部教員)
対象	<p>全学部・研究科の学生</p> <p>※プログラム実施期間中に試験・再試・講義・実習等のある学生は参加できません。</p>
定員	10～30名程度
奨学金 ※①と②の併給不可	<p>①日本学生支援機構海外留学支援制度(JASSO 奨学金):9万円</p> <p>※申請には竹本先生の2026年度前期授業のうち、次のいずれかを履修していることが必須です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会とビジネス」(学部共通教育科目) ・「企業戦略概論」(大学院工学研究科博士後期課程) ・「MOT 概論」(大学院工学研究科博士前期課程) ・「アントレプレナーシップ論」(工学部・国際地域学部) ・その他、経営・技術革新工学研究室「実験・演習等」関連科目 <p>※その他、受給には成績要件及び家計要件があります。</p> <p>※支援人数には制限があります。各種受給要件を満たしていても、受給できない場合もありますので、あらかじめ理解しておいてください。</p> <p>※その他奨学金については、詳細が決定次第案内予定。</p> <p>②福井大学学生海外派遣支援金(福大支援金):6万円</p> <p>※受講科目要件はありませんが、一定の成績要件が必要です。</p>
単位付与	<p>2 単位</p> <p>※対象となる科目名は所属ごとに異なります。</p> <p>※今年度卒業予定の方は、学位授与式で配布する成績証明書には修得単位の記載が間に合わない場合があります。</p>
募集説明会	<p>2026年5月25日(月)12:10-12:50</p> <p>@文京キャンパス 総合研究棟IV-1(工学系2号館)2F 223L 教室</p> <p>申込はこちら</p> <p>※会場準備のため、事前申し込みをお願いします。(ただし、当日参加も可。)</p> <p>※大学の Google アカウントでログインしてください。</p>
UF-GLP ポイント	<p>①説明会への参加 :【国際教養】 ポイント対象</p> <p>②プログラムへの参加 :【留学・海外研修(異文化適応力)】 ポイント対象 ※①②は積算可</p> <p>※UF-GLP とは?・参加登録はこちら・</p>
学内参加申込方法	<p>締切までに指定の書類を国際課に提出。</p> <p>詳細は下記「■学内参加申込提出書類」を確認すること</p>

問合せ先	<p><申込手続きに関すること> Email:studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp 文京・敦賀:国際課(学生交流センター1階)TEL:0776-27-8404 松 岡:国際課(管理棟1階 松岡キャンパス学務室内)TEL:0776-61-8849</p> <p><研修内容に関すること> 竹本 拓治教授 Email:takemoto@u-fukui.ac.jp</p>
------	--

■学内参加申込提出書類

・**申込受付期間:2026年5月25日(月)13:00 ~6月15日(月)17:00 ※締切厳守!**

・提出先:国際課

(文京)学生交流センター1階

(松岡)管理棟1階学務課内

(敦賀)事務室1階

・申込方法:下記①~⑦すべての書類の送信・提出を以て参加申込完了。

《オンライン》

① [参加申込フォーム送信](#)

《紙で国際課へ提出》※A4判で揃えること。②③の様式は[こちら](#)

② 「福井大学 短期海外研修プログラム 参加申込書」

※助言・指導教員(医学部生は学年主任)の自筆署名が必要(代筆不可)

③ 「誓約書」

※保証人の自筆署名が必要(代筆不可)

※保証人が遠方に住んでいる場合、郵送での対応が必要

④ メモ

①**申し込みの志望動機** ②**タイで成功すると思う日本にあるビジネスとは?**

※①と②をあわせ A4 サイズ用紙1枚以内

※文字で表現するものでなくても結構です。伝わる範囲なら自由な形で考えを表現してください。

⑤ 語学能力を証明する書類の写し(TOEFL、TOEIC、英検、中国(仏・独)語検定等)

※ある学生のみ。プログラム参加にあたり、語学能力の有無は問いません。

⑥ パスポート原本の写し(顔写真のページ)

※パスポート未取得者は、記入済みの「一般旅券発券申請書」の写し(氏名ローマ字表記が確認できるもの)を提出し、参加者決定通知後に至急申請してください。

※航空券の予約・購入時にパスポート情報が必要です。

----- JASSO 奨学金申請希望者は以下も提出してください-----

⑦ [JASSO 奨学金申請書類一式](#)

(1)家庭状況等調書

(2)銀行振込依頼書

(3)銀行通帳見開きページの写し

※JASSO 奨学金に申請可能かどうかは、上記「[奨学金](#)」を確認すること。

※2026年度前期に前述の竹本先生の授業を履修している学生は提出すること

※(3)は通帳がない場合、キャッシュカードのコピーやアプリの画面でも可。

アプリの画面印刷を提出する場合は、銀行名、支店名、口座種別、口座名義、口座番号が全てわかるものを提出すること。

■今後のスケジュール

5月25日(月)

募集説明会

6月15日(月)17:00	応募締切・書類提出締切(期限厳守)
6月18日(木)	参加者決定通知・対象奨学金案内
7月17日(金)13:00-15:00	危機管理セミナー(受講必須)
7月	国際課オリエンテーション(対面参加必須)
7月~8月	オリエンテーション(3回)
8月25日(火)~9月10日(木)	プログラム実施(この期間内で13~14日間)
9月9日(水)	最終発表スライドを現地で引率教員に提出
帰国後10日以内	帰国後アンケート提出

■その他注意事項

参加費用に含まれない費用 ※変更の可能性有

- ・往復航空券代および関連費*1
- ・日本国内移動交通費
- ・海外旅行保険料*2
- ・危機管理サービス利用料*3
- ・参加費用支払手数料
- ・海外渡航申請手続費用(パスポート申請・ビザ申請など)
- ・海外用 SIM カード購入、レンタル Wi-Fi など海外でのインターネット通信環境整備にかかる費用*4
- ・手荷物超過料金
- ・その他個人的支出 など

*1 往復航空券: 関連費には燃油サーチャージ、空港施設利用料、代理店手数料等を含みます。フライトは全員同じ便を利用するため、研修前後に個人的な旅行を含めることは認めません。

*2 海外旅行保険料: 大学指定の海外旅行保険(ジェイアイ傷害火災保険:取扱窓口 (株)アークスリーインターナショナル)への加入を全員必須としています。詳細は渡航約1カ月前に実施の国際課オリエンテーションで案内しますので、個人で別の保険には加入しないでください。

*3 危機管理サービス利用料: 海外旅行保険同様、参加者全員加入必須の危機管理サービスです。有事の際の安否確認やトラブル時の相談窓口となります。申込方法等詳細は、国際課オリエンテーションにて案内します。

*4 インターネット通信環境: 海外用 SIM カード等の購入は任意ですが、危機管理上、保険会社や大使館とのやりとりは電話連絡が基本となるため、海外でも携帯電話通話ができる状態・契約しておくことを強くお勧めします。

■キャンセルについて

原則、参加申込以降のキャンセルは受け付けません。やむを得ない事情により参加をキャンセルする場合、プログラム費、滞在費、往復航空券代等にかかるキャンセル料は各手配先のポリシーマニュアルに基づき参加者の自己負担となります。